

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2021年1月1日 ～ 2024年1月31日の間に、逆流性食道炎のために虎の門病院消化器内科に入院・通院し、タケキャブの処方（漸減治療）を受けられた方

### 【研究課題名】

軽症逆流性食道炎に対する Vonoprazan 漸減治療の有用性の検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

軽症逆流性食道炎に Vonoprazan (タケキャブ) が用いられることがありますが、軽症逆流性食道炎に対する同薬剤の最適な投与期間や投与量に関する報告はまだ少数です。本研究は、軽症逆流性食道炎に対する同薬の漸減治療の有用性を明らかにすることを目的としています。

#### 《研究に至る背景》

2021年に改訂された食道胃逆流症 (GERD) ガイドラインでは、軽症逆流性食道炎にはプロトンポンプ阻害薬あるいは Vonoprazan (タケキャブ) がともに第一選択肢として挙げられています。Vonoprazan (タケキャブ) は効果発現が短いと言われており、症状に応じて内服を短期間にできる可能性があり、それを漸減治療として検討を行うことで、軽症例に対する Vonoprazan (タケキャブ) の投与期間を短く、また投与量をより少なくできる可能性があります。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年7月25日 ～ 2026年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 消化器内科 布袋屋 修のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 診療記録、年齢、性別、身長、体重などのデータ、症状の問診データ、内視鏡検査結果、薬歴

【虎の門病院における研究責任者】

消化器内科 布袋屋 修

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年7月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 落合 頼業  
電話 03-3588-1111(代表)